

タイピックだより

12月号

2014.11.20発行

Vol.24



気がつけば、早12月。寒さが一段と身にしみる季節となりました。

街は、赤と緑のクリスマスカラーに彩られ、にわかには活気づいています。タイピックでも、毎年、生徒さんと一緒に、パソコン教室の窓にイルミネーションの飾り付けを行っています。

澄み切った夜空に満天の星空と、町のあちこちに彩られたイルミネーションを見ながら帰路につくのも楽しいかもしれませんね。



師走と聞けば、なんだか慌ただしい気持ちになりますが、なるべく気持ちに余裕を持って年内にやらないといけないことをこなして行きたいものです。また、今年一年間の様々な出会いに感謝し、一年の最後を気持ちよく締めくくっていきたいですね。

第5回社内木鶏全国大会 in 札幌出場決定!!

この度、来年5月に開催される「第5回社内木鶏全国大会 in 札幌」に、全国約1000社の中から代表に選ばれる5社のひとつに弊社が選ばれました。

社内木鶏とは、「致知」をテキストに語り合い、社内で人間学を学ぶ勉強会です。そして、社内木鶏全国大会は、『致知』の愛読者や人間力を高めたいという方々が一堂に会し、社内木鶏会を導入した企業の成功事例や感動の体験発表を行うものです。

タイピックでは、5年前から致知を社員全員で読んでおり、毎月第一土曜日には社内木鶏を行っています。社内木鶏会の実施により、社員相互の感受力が刺激され、心が磨かれているように思います。社内木鶏全国大会で、皆さまに感動を与えられ体験発表が出来るよう社員一丸となって、頑張りたいと思っております。



私たちは同じことを、100回聞かれても笑顔でお答えします。

Typic 株式会社 タイピック



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 (代) Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>

タイピックでは、OA機器・印刷・通信・ホームページ作成からスタッフの技術向上のお手伝いまで、オフィスの効率的な運営をサポートさせていただきます。

今月の社長のつぶやき

島根県倫理法人会の主催する第5回100日実践トライアルに「毎日3通はがきを書く」に決めて、チャレンジを開始しましたが、37%しか書いていません。

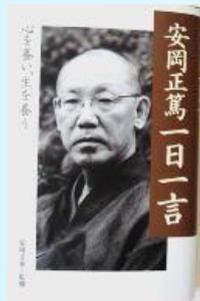
前は「1日2時間以上学をなす」にし目標は達成できたのに、なぜ僅か3枚のはがきを書くのに「相手が思いつかない」「文章が思いつかない」など書けない理由を探している自分が嫌になりました。

真剣に取り組めば、出す相手はいくらでもいます。母・妻・子供・知人・友人・お客様と、何でもそうですが、出来ないのは自分の思いが足りないから出来ないのです。真剣であれば、なんとしてでもやり遂げようとする思いが強いので目標達成が出来るのです。

はがきを書いて100日実践された方やチャレンジされている方に話を聞きました。Tさんは毎日お客様や知人、友人に出していると言っておられ、Mさんは自分の母親や知人に出され、特に母親には何通も書かれたそうです。11月14日に法人レクチャー研修会でお会いしたSさんは、安岡正篤先生の「一日一言」(致知出版社)を書き写して1000日間、同じ人に送られたとの話を聞きました。

私は現在、安岡正篤先生の代表作『日本精神通義』を学んでおり、Sさんを見習い1通目は「一日一言」をはがきに書き写して、今年11月29日(私の誕生日)から平成29年11月28日までの1095日間、今までお世話様になった方々に送らせて頂き、残りは最近名刺交換した方や知人に出すことに致しました。

この取り組みは、私自身が書き写すことにより安岡正篤先生の考えを学ぶことが出来ますし、受け取って頂いた方にも喜んで頂けると思っています。



代表取締役社長 岡崎純二



タイピック社内木鶏(月刊「致知」を読んでの感想)

「稲盛和夫に学んだこと 思いが事を成す」M・E

京セラといえば、私の実家のすぐそばに本社があるのですが、若い頃は京セラがどんな会社なのか興味もないまま過ごしていたので、最近になってすごい会社だったんだと思うようになりました。いろんな本に登場されていますが自分にも社員にもとても厳しい方というのが読んで思いました。でも、字をきれいに書かなければいけないとか、うその報告をしてはいけないとか、人として当たり前のことを言われていると思いますし、何度も同じことを言い続けることで、言われた本人はまた同じことを言われようと努力するようになると書かれていましたが、どの事も相手のことを思って言われている言葉に感じました。厳しいなりに稲盛和夫という人間味というものを感じさせられました。

最後に物事がうまく進まないときは、まず初めに自分の思いが足りないことから生ずる努力不足とありましたが、たしかに物事がうまく進まないようになってくると、他の何かのせいにして、なげやりな気持ちになったりしがちだと反省させられました。どの記事を読んでも思うのですが、やっぱり人として当たり前のことを当たり前でできる人でなければならないと改めて感じさせられました。

兎澤直樹の「兎に角」伝えたいこと

『包み込み』



みなさん、こんにちは。株式会社 船井総合研究所の兎澤（とざわ）と申します。

今回で7回目の掲載となります。よろしくお願いいたします。

船井総研という会社は、主に中小企業様の業績アップのお手伝いをしている経営コンサルティング会社です。今回は、「力相應一番」という考え方をご紹介しました。「力相應一番」というのは、「自分たちの力相應に一番になれる領域を目指すこと」です。お客様に選ばれるためには、小さくても良いから何かで一番を作ることが大切です。

さて今回は、「包み込み」という考え方をお伝えしたいと思います。

船井流の「包み込み」には2つの意味があります。ひとつは、経営手法としての「包み込み」で、「周囲の競合店の特徴や品揃え、強み、情報などに対して、力相應で圧倒的に包み込んでしまう戦略のこと」を言います。完全に競合店の品揃えなどで上回ってしまうことです。もうひとつは、人に対する「包み込み」です。人には長所も短所もあります。様々な意見があります。つまり、自分と異なる相手を否定するのではなく、相手のすべてを受け入れる姿勢のことを「包み込み」と言うのです。「器」という言葉にも置き換えられると思います。人は、自分のことを認めてくれる人に好意的になります。一見すると相反する2つの意見も、どちらも包み込むことで新しい発想が生まれることもあります。お互い、人を否定して対立するのではなく、包み込んで、良い関係を築きながら仕事をしていきたいですね。

SAからのお勧め情報



タイピック営業担当者によるお勧め情報のコーナーです。

12月号は、印刷事業部営業の寺井が担当させていただきます。

料理レシピ、地域散策ときてさて、何の情報提供をさせていただこうかといろいろと悩みましたが、私は最近読んで感銘を受けた本の紹介をさせていただきます。今回ご紹介させていただく本は「逆境にまさる師なし～起業の成功法則～」という本です。この本はアーバンベネフィット会長の木村勝男氏という益田市出身の方の著書です。

本書の説明としては「著者は昭和15年、朝鮮半島から日本に渡ってきた両親のもとに生まれた。父の死により、母、4人の妹弟たちと極貧の中を生きた。しかし、どんなに困難な状況の中でも「お前は長男だ。家族のことを頼む」という父の遺言を忘れることはなかった――。

中学を卒業するまでに十六回の引っ越しを経験し、小学5年で家計を支えるために養豚に精を出した著者。厳しい環境が彼を鍛え、人間として成長させ、磨き上げてくれた。

「やってみないと分からない。やったことしか残らない」

――この言葉を信条として歩み続けてきた著者。その幼少から、起業を経て現在に至るまでの波

瀾万丈の軌跡は、読む者の胸を打ち、人生の極意とは何かということについて、多くの示唆を与えてくれる。」と本の説明はあるのですが、ところどころで益田市内の町名や自分の知っている地名が出てきてとても身近に感じ、タイピックに入社するまで本を読むという習慣の無かったこの私にも大変読みやすかったです。読む人それぞれに感じる場所もあるでしょうが一度手にとって読んでみてはいかがでしょうか。



ゆっくりやさしいパソコン教室

■パソコン教室 写真コンテスト開催中!!

今年も、ゆっくりやさしいパソコン教室全5教室合同で、「第4回写真コンテスト」を開催しております。

タイピックのパソコン教室では、パソコンの基本であるワードやエクセルの学習はもちろんですが、もっと趣味の世界を広げていただけるように運営しております。その一環として、デジカメ撮影講座や“ワードでお絵かき”、“パソコンで水彩画”などにも取り組んでいます。このコンテストは、その日ごろの成果を発表していただく場として毎年開催しております。

コンテストは、「写真部門」「フォト575部門」「ワードでお絵かき部門」「水彩画部門」の4部門で構成されています。

「フォト575」は、デジカメで撮った写真に五七五の俳句や川柳を組み合わせて相乗効果を楽しむ作品で、NHKでも番組を制作しておりました。



「ワードでお絵かき」は、ワードの図形作成機能を使って自由に絵を描く作品で、凝ったものになると緻密な書き込みで思わずうなってしまう作品もあります。



「水彩画」は、「水彩」という専用のパソコンソフトを使って、パソコン上で水彩画を描く作品です。

絵手紙風や、写実的な絵、油絵風など、素晴らしい作品がたくさんあります。

ご興味のある方は、是非、生徒の皆さんの熱い想いのこもった作品を見学にいらしてください。

ゆっくりやさしいパソコン教室は、皆さんと共に作っていくパソコン教室です。

皆さまのご入会、スタッフ一同お待ちしております。



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします